

台風19号

10月19日に関東地方、甲信地方、東北地方などで記録的な大雨をもたらした台風19号では、広域で浸水被害が発生し、処理場・ポンプ場の機能・運転停止、管きよでも土砂の流入といった被害が発生しました。

管路協では、長野県、小布施町の要請を受け、中部支部が管内滞留汚水の吸引・運搬を実施しました。

埼玉県では、越辺川支流の鳩川が氾濫し、毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合の鳩山第2中継ポンプ場が水没したため、同組合の要請を受け、関東支部埼玉県部会が汚水の吸引作業を実施しました。

また、郡山市の要請を受け、東北支部福島県部会が、市内幹線（φ1,000～1,500）の堆砂量調査を実施しました。



鳩山第2中継ポンプ場での汚水吸引作業（毛呂山・越生・鳩山公共下水道組合）



管内滞留汚水の吸引作業（長野県）



堆砂量調査状況（郡山市）



長野市内の復旧支援の状況視察（国土交通省下水道部下水道企画課の本田康秀下水道事業調整官（右）、同課中西啓輔国際展開推進係長（中央奥））



堆砂量調査状況（郡山市）

3. 台風19号での復旧支援活動

長野県他5団体からの要請で行った復旧支援活動の概要は下表のとおりです。

対策本部は、下記の会員会社に設置されました。

長野県、長野市、小布施町：和田産業

毛呂山他組合：三栄管理興業

郡山市：小林土木

宮城県：北日本ウエスタン商事

前線基地責任者は、下記の方々が務めました。

長野県、長野市、小布施町：和田産業の藤田功氏、

和田俊明氏、ヒューテックの富田賢司氏

毛呂山他組合：三栄管理興業の荒木伸一氏

郡山市：小林土木の野寄博之氏

宮城県：北日本ウエスタン商事の佐々木英明氏

出動したのは、下記の会員各社です。

長野県他2市町：25社、和田産業、川瀬工務店、ヒューテック、アースワーク、長豊建設、管清工業、青木環境事業、三起クリーン、一紅産業、エイコウサービス、須走総合企画、東海下水道

整備、アースクリーン21、高岡市衛生公社、魚津清掃公社、トスマク・アイ、環境日本海サービス公社、エスケージー技術、緑水工業、東産業、中央清掃、高島衛生、環衛、河田建設、富士ロードサービス

毛呂山他組合：2社、三栄管理興業、青木清掃

郡山市：2社、小林土木、エンドウ

宮城県：9社、北日本ウエスタン商事、アームズ東日本、泉興業、いずみ清掃、協業組合ケン

ナン、東北環境整備、宮城公害処理、日本ハイ

ウェイ・サービス仙台支店、宮城衛生環境公社

宮城県の業務の時期が災害発生の翌年になったの

は、道路で所定の作業が行える状況になるまでに時間がかかったため、とのことです。

契約金額は下記の通りです。

長野県他2市町：合計で 81,470,400円（税込み）

毛呂山他組合：4,353,800円（税込み）

郡山市：3,619,000円（税込み）

宮城県：9,673,400円（税込み）

自治体名	要請日	業務	現地作業期間	会員数	実施量
長野県	R1年10月13日	汚水輸送	10月16日～26日	19	4,207m ³
長野市	R1年10月13日	汚水輸送	10月16日～28日	6	4,534m ³
小布施町	R1年10月13日	汚水輸送	10月18日	1	21m ³
毛呂山他組合	R1年10月13日	汚水輸送	10月13日～16日	2	1,300m ³
郡山市	R1年10月14日	堆砂量調査	10月15日～28日	2	2,780m
宮城県	R1年10月24日	マンホール周辺点検	R2年3月10日～26日	9	623基